



自分らしく生きる

岩田小学校 六年 水落 奏太

みんなの幸せ願って

ぼくは、社会科の学習で、世界には今まで身分差別、男女差別、障がい者差別、人種差別など、いろいろな差別があったことを知った。そしてそれは、今も続いているようだ。ぼくは、今の生活の中で、男女差別がたくさん残っていることに、とても疑問がある。

例えば、学校の中での着がえ。女子は別の部屋に行つて着がえるのに、ぼくたち男子は教室しか着がえる場所がない。着がえている途中で女子が入ってくるのは、正直に言つてあまりいい気分ではない。

他にもトイレ。女の人は別々の個室があるのに、男のトイレにはない。外から見えたり、ちかみや誘いもあつたりすることを考えると「こわいな。」と思う。

家庭では、女の人だからという理由で家事をおしつけられるというニュースを見たことがある。ぼくの家では、お父さんもおふろそうじや皿洗いなどをしている。このように、男女ではなく、交代で行つた

り役割を決めたりすることで、みんなが気持ち良く過ごすことができるのではないだろうか。

他にも、色で男女差別されていると感じることがある。色は人によつて好みが変わると思うが、「男なのにピンクが好きなの?」「女なのに青が好きなの?」と言われることがある。色で男女が決まるのはおかしい。

ぼくたちには、「みんなが生まれながらに自分らしく生きていい」と約束されている権利「人権」がある。人を「男」とか「女」とか区別して見るのではなく、「二人の人間」として見ていくことで、このような差別はなくなつていくとぼくは思う。ぼくが挙げた例以外にも、いろいろな差別に困っている人、悲しんでいる人が世界にはたくさんいる。

ぼくは世界中の人が自分らしく生きていけるように、いい社会をつつていきたい。



【先生のコメント】
学習したことから、日常生活においておかしいな、不思議だなと思うことが出てきた奏太さんはずいぶんと思います。だれもがまず、そんな視点をもちることが、差別をなくす第一歩だと思います。確かにこの世の中には、まだまだたくさんの差別があります。

奏太さんが考えているように、人を一人の人間としてみんなが尊重することができれば、差別のない社会へ近づいていくことでしょう。そのためには、おたがいの違いを認め合い、相手の立場に立つて考えることがとても大切ですね。

人権相談(無料)

〜ひとりでも悩んでいませんか〜

【人権何でも相談所】

- 日時 3月15日(水)午後1時〜4時
- 場所 山川市民センター
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みごとなど

【女性相談所】

- 日時 3月9日(木)午前10時〜午後3時
 - 場所 福岡法務局柳川支局
 - 相談内容 原則として女性からの相談
- ※女性の人権擁護委員が相談に応じます

【常設相談】

- 時間 午前8時30分〜午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談担当者 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号 (TEL)0570-003-110
- 福岡法務局柳川支局 (TEL)72-2640



みやまに生きる人 vol.143

農業 藤木 大貴さん

みやま市の特産品でもあるイチゴを中心に、米、大豆、ブルーベリー、みかんなどを栽培する藤木さん。取材に訪れたこの日は、イチゴの出荷に向けて収穫・パッキング詰めを行っていた。

ふと感じる、農業の魅力

藤木さんは、4年前に実家の農業を継ぐために就農した。「就農1年目は、とにかく腰がきつかったです。土耕栽培でイチゴを生産しているので、中腰での作業が多く、慣れるまではとにかくむしやりに働きました。でも、自分のペースで作業できたり、初収穫の達成感は魅力的で、「農業っていいな」と、最近ふと思うようになりました」

効率を追求する

「イチゴは特に作業時間が長い作物だと言われているので、作業効率を上げることが課題だと思っています。うちはハウスを2か所持しているで、今年から朝夕に分けて収穫しています。一度にまとめて収穫するよりも、体の負担が減つて作業効率が上がりました。今は父が主体になって作業をしていますが、最近「こうしたら、もっと作業が早く終わるんじゃないか」「この資材を減らせば、経費削減できるんじゃないか」と自分から提案しています。効率を追求して自分の裁量で作業できる農業が、性格にあっているんだと思います」

向上心を持って

積極的に研修会などに参加し、勉強を重ねる藤木さん。「将来は自分が主体になって、収量や品質の面で父を超えられるようになりたいです。そのために、研修会に参加したり、JAの指導員やイチゴ部会の皆さんから学ぶことも多いです。これからは積極的に知識や技術を身に付け、高品質で美味しい作物を全国に届けていきたいです」



ふじき ひろたか
趣味はゴルフとドライブ。
【座右の銘】
とりあえずやってみる
【みやま市にひとこと】
自然豊かで農業がしやすいまちだと思います。若い世代を筆頭に農業を盛り上げていきたいです。

みやま文芸

高田町句会

- 盆梅の洞三百年の呼吸 板橋 寿
- 一灯の神さびたるや寒の宮 岩屋 清美
- 凍雲の棚の上なる普賢岳 紙田 幻草
- 赤赤と牡丹芽吹くや二千株 猿渡 洋子
- 電線で何を見るのか寒鳥 野田 憲二
- 盆梅の一輪づつの日差し燦 野田岳比古
- 凍雲を流す水面や真澄鏡 西山ワカ子
- 飛梅に重ぬる願ひ卯の飛躍 松尾 光恵



※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。